

平成 27 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビル  
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

事業報告目次

項 目	ページ
事業報告	
1. 事業報告(総括) 中長期経営計画達成状況	1
2. 職員構成	2
3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書	2
4. 市区町村別入退所状況	3
5. 利用者外出・外泊・面会状況	3
6. 処遇報告	3-6
1) 2F 事業報告・活動報告	
2) 3F 事業報告・活動報告	
3) 4F 事業報告・活動報告	
4) 月間定例行事実施状況	
5) 地域行事参加状況一覧表	
6) 施設見学者一覧表	
7) 日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告	
7. 厨房事業報告	6-7
1) 実施項目	
2) 代替食実施状況	
3) 行事食内容報告	
4) 給食懇談会実施状況	
8. 医務室利用者健康管理報告	8-9
9. リハビリテーション報告	9-10
1) リハビリ実施報告表	
10. 生活相談員・介護支援専門員	10-11
11. クラブ活動実績報告	12-14
12. 年間行事実施報告	14
13. <u>事務費・固定資産物品報告</u>	14
14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告	15
15. 職員研修報告	16~18
16. ボランティア受入の状況	19~22
17. 慰問受入状況	22
18. 実習生受入状況	22
19. 消防訓練実施結果	23
20. ショートステイ事業報告	24

## 1. 事業報告 (総括)

統括施設長指示のもと、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求と、利用者個々の可能性への着目の継続により細やかな様子観察やコミュニケーションの更なる増加が実践出来た。前年度と同様、日帰りドライブを中心に利用者ニーズを勘案したフロアやユニット活動が更に充実し、食事メニューの増加や厨房職員による手作りおやつ継続等、利用者個々の豊かな表情や笑い声を引き出す事ができた。第三者評価事業による利用者調査でも満足以上の回答が86%と高い評価であった。中でも「日常生活上で必要な介助を受けている」「職員の態度や接遇が適切」「不満や要望は適切に対応されている」等の項目で、90%以上のより高い評価となった。ご家族の皆様からも、入所生活等に関する安心の声が大変多く聞かれた。

東京都より高評価を頂いた研修関係についても、内部・外部研修の更なる充実を推進し、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・顧問医師の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。外部研修では東社協研修会での研究発表へ5年続けて参加できた事等により職員個々のスキルアップと合わせ、利用者が安心して生活できる基盤作りを実践した。内部研修に関しても、研修委員等の熱意や創意工夫により定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研究発表や地域の方にも参加して頂ける「公開研修会」の継続開催等により、充実した内容の研修会を行う事で、研修全体の精度が更に高まった。

利用者の健康管理については、平均介護度4.1と重度化が継続している中、顧問医師の指導による日々の健康チェックときめ細やかな日常観察等を介護・看護職員が行い、病気の早期発見・早期治療を実施する事ができ、感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。

一方では、開設から20年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、機械浴槽の入替えを中心に細かな部分も含め修理・改善に要する費用が大幅に増加となった。職員の努力によって、水道光熱費や灯油代等が大幅に削減する事ができたが、修繕等については今後も続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を感じてもらえるような施設作りを継続して行きたい。

介護報酬等収入実績：659,320,146円

### 【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおり成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
施設長		1	
顧問医師			1
産業医			1
副施設長		1	
事務長		1	
事務員			2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	6(3)	
	介護長	0	
介護支援専門員		(3)	
介護職員		39	30
医務	医師		3
	看護主任		
	看護職員	5	1
	事務		1
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	P T		2
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	6	2
保守管理・宿直	介助員	1	10

\* 兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

\* 清掃・洗濯・夜勤パートの一部はシルバー人材より派遣

人件費実績

: 439,806,731 円

福利厚生費実績

: 3,825,437 円

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数 合計
相談員会議	9	14	11	9	13	10	8	12	10	14	11	10	12
栄養会議	23	28		23	27	24	22		24	28	25	24	10
行事計画委員会	9	14	11	9	13	10	8	12	10	14	11	10	12
苦情・拘束会議		28			27			26			25		4
事故対策会議	23			23			22			28			4
虐待防止会議			25			24			24			24	4
実習研修推進委員会	20	18	15	27	17	21	19	16	21	18	15	21	12
厨房会議	8	13	10		12	9	14		9	13		9	9
ケース会議	9	14	11	9	13	10	8	12	10	14	11	10	24
	23	28	25	23	27	24	22	26	24	28	25	24	
リーダー会議	9	14	11	9	13	10	8	12	10	14	11	10	12
広報委員会	22	29	26	24	28	25	23	27	25	22		25	11
施設内レクリエーション委員会	20	18	15	27	17	21	19	16		18	15	21	11
褥瘡予防会議	23	28	25	23	27	24	22	26	24	28	25	24	12
衛生委員会	22	29	26	24	28	25	23	27	25	22		4・25	12
感染症対策委員会			26			25			25			4	4
全体会議	22	29	26	24	28	25	23	27	25	22		4・25	12
利用者懇談会				16									1
給食懇談会	3	1	5	3	14	4	2	6	4	8	5	4	12
3施設情報交換会	16		25		31				17				4
業務検討委員会								26	10・24	14・28			5
防火管理委員会										14			1

会議費実績 : 73,855 円

#### 4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
葛 飾	5	5	5	6	10	11
国 立	0	0	0	0	0	0
江 東	0	1	0	4	1	4
杉 並	0	2	1	4	2	5
世田谷	2	6	1	6	8	5
立 川	0	2	0	3	2	3
福 生	5	11	2	6	16	8
文 京	0	5	0	2	5	2
目 黒	1	1	3	0	2	3
その他	0	0	0	2	2	2
合計	13	33	11	31	46	45

#### 5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4 月	1	1			173	291	9.7
5 月	4	4			173	348	11.2
6 月	3	3			173	235	7.8
7 月	2	2			173	224	7.2
8 月	5	5			173	275	8.9
9 月	1	1			173	251	8.4
10 月	3	3			198	228	7.4
11 月	2	2			198	277	9.2
12 月	3	3			198	351	11.3
1 月	4	4			198	350	11.3
2 月					198	266	9.5
3 月					198	251	8.1
合 計			0	0	2226	3347	9.2

#### 6. 処 遇 報 告

##### 1) 2F 事業報告・活動報告

###### (1)年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。

後期目標に関しては、利用者様の体調管理に職員一同及び医務との連携にて体調の変化の早期発見が出来、季節ごとの感染予防に配慮し、利用者様に穏やかで楽しい生活を送って頂くことが出来た。

###### (2)フロア活動報告

【利用者ショッピング】 4/14・5名 28・1名 6/9・2名 23・3名 7/14・2名 28・3名  
8/11・2名 8/25・3名 9/8・3名 10/1・3名 27・4名

###### 【年間行事】

サンシャインビラ観桜会 6名 川越菓子屋横丁ドライブ 18名 サンシャインビラ納涼会 5名  
第3サンシャインビラ納涼会 5名 福生市敬老大会 9名 福祉まつり 4名  
第3サンシャインビラ文化祭 3名 ふっさ桜まつり 3名

##### 2) 3F 事業報告・活動報告

平成 27 年度は、フロア目標を「利用者様一人ひとりのニーズに合った統一ケアを行うため、各職種と連携をとり、健康で楽しく明日への希望が持てるようなフロア作りに努める。」として取り組みました。

① ・利用者への個別ケアはケアプランを柱とし、居室担当から利用者情報を発信することにより、職

員全体で個別の介助方法や状態の変化に配慮してケアの提供を行いました。

・重度の方に対するケアについては、その方に合った栄養管理（食事形態や補食の検討など）、褥瘡予防等について適宜関係各部署と情報を共有し、早期の対応によりご本人の負担軽減に努めました。

・看取り介護については、ご家族の協力をいただきながら関係各部署と連携して、一人ひとりの利用者に寄り添ったケア（癌末期の疼痛緩和や、ご本人が希望された食べ物（「ビール」や「いか」などの希望も。）の提供など）の提供に努めました。

- ② リスクマネジメント（事故予防・感染症対策）に関しては、施設内外の研修や日々のミーティングなどを通して、職員一人一人が、リスクマネジメントに関する知識深め、利用者の安全な生活につなげるよう努力しました。しかし、新しく入所された利用者のアセスメント不足や利用者の状態の急激な変化等により、転倒やずり落ちを繰り返してしまうこともありました。その都度、ミーティングを行い環境整備や居室変更など対応策を検討し再発防止に努めました。（事故件数は別表参照）

感染症予防においては、早い時期から感染症に関する研修や日々の注意喚起（湿度調整、カンファ水の使用、健康管理）により、職員一人ひとりの意識を高めた結果、フロアでの感染症発症無く年度を終えることが出来ました。

- ③ 年間を通してレクリエーションを実施し、施設での生活の中で楽しみや喜びを感じていただくことが出来たと思います。施設行事のほかレク委員が中心となって、フロア活動を行い利用者を楽しんでいただきました。3階は利用者の重度化が進んでいるため外出できる方が少なく、フロアで楽しんでいただける企画を多く検討しました。

実施例）外食会：魚屋路（近隣の回転寿司）

フロアレク：アイスクリーム ホットケーキ

クリスマス会（職員有志他による社交ダンス ケーキ）

季節ごとの貼り絵作成（作品はフロアに掲示）

上記のほかにも、ボランティアで「ウクレレ演奏による歌唱会」「朗読ボランティア」「草笛」などの来園があったり、フロアの壁に歌の歌詞を貼り出して業務の合間に合唱のレクを行うなどして、利用者の笑顔を引き出すことが出来たと思います。

また、利用者のご家族（娘様）が式場に招待出来ないの、施設で結婚式を挙げたいとの希望があり、5階ホールを使用するととても感動的な結婚式のお手伝いをさせていただくことが出来ました。

### 3) 4F 事業報告・活動報告

#### \*目的

利用者様のその人らしさを尊重し、安心してより良い生活を送って頂ける様に、各職種との連携を図り、自立支援、個別ケアを目指していく。

#### \*実施結果

##### ☆生活の質

フロアの全職員が、ケース会議の要点にしっかり目を通して理解することが徐々に定着し、それが居室担当からの発信をより理解し、継続した統一の処遇へとつながってきている。

それにより、例えば居室担当が不在の時でも決められた適切な援助がしっかりなされたり、その方の「出来る力」を何とか引き出そうと、諦めず声掛けし続ける姿があちこちで見られるなど、フロアが同じ方向を向いてその方に取り込む姿勢が少しずつ出来てきている。

##### ☆健康、医療面 環境整備

皮膚疾患では、褥瘡者を2名出してしまおうが、医務との連携、清潔保持、こまめな体位交換により、一人は早期に治癒され、もう一人も快方に向かっている。

更に夏場の皮膚感染者の対応に追われるなど、厳しい状況が続いた。

車椅子からのずり落ちが半減したが、転倒や、ベッドからの転落、ずり落ちが大幅に増え、骨折や頭部打撲にて、入院者が出てしまう結果となった。

また、歩行器を使用する方が増え、行動範囲が広がった分、リスクも高く、防ぎきれない事故も多く、ベッドサイドのセンサー設置でも限界があった。

この様なフロアの現状をふまえ、より効果的なセンサーの導入や、繰り返すリスクの高い方への具体的な改善策を居担中心に皆で考え、事故を少しでも減らす努力を継続していく。

また、感染症流行時期は、インフルエンザを2人程発症する事があったが、細心の注意と、各部署との連携にてその後の発症者を抑える事が出来た。

☆楽しみ

各種行事参加の他、フロア活動や個別活動を行い、天気の良い日には、気分転換に外気浴も行いました。

また、利用者様からの要望もあり、実行する事により、「楽しかった、良かった、美味しかった。」の声が聞かれました。職員も良くコミュニケーションを取られておりよい雰囲気作りが出来ていたと思います。

フロア活動の一例として、フルーツ作り・ お好み焼き・かき氷を皆で食べよう・回転寿司にて昼食（外食）・釜飯紅葉ドライブを行いました。

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ バイン グ	ラーメン の日 冷し中 華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	理髪の 日	移 動 美容室	利用者 ショッピング	ひまわ り美容 室
4	21	7	1	15	8	29	21	24	14. 28	9
5	5	19	5	20	13	27	19	22	12. 26	14
6	16	2	3	17	10	24	16	26	9. 23	11
7	21	7	1	15	8	29	21	24	14. 28	9
8	18	4	5	19	12	26	25	28	11. 25	13
9	15	1	2	16	9	30	15	25	8. 22	10
10	20	6	7	21	14	28	20	23	13. 27	8
11	17		4	18	11	25	17	27		12
12	15	1	2	16	9	23	15	25		11
1	12	19	6	20	13	27	19	29		14
2	16	2	3	17	10	24	16	26		4
3	15	1	23	16	9	30		25	22	10

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
4月12日	サンシャインビラ観桜会	6名
5月31日	川越・菓子屋横丁ドライブ	18名
7月 5日	サンシャインビラ納涼祭	5名
7月11日	第3サンシャインビラ納涼祭	5名
9月13日	福生市敬老大会	9名
10月 4日	福祉まつり2015	4名
10月31日	第3サンシャインビラ文化祭	3名
3月29日	ふっさ桜まつり	3名
4月12日	サンシャインビラ観桜会	6名
5月31日	川越・菓子屋横丁ドライブ	18名

## 6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
4月8日	ヘルパー学院受講生	1	13:30~14:30	施設見学、質疑応答
4月10日	ヘルパー学院受講生	2	13:00~14:00	〃
4月22日	福生市職員	3	13:30~14:30	施設見学、打ち合わせ
4月24日	(株)エーザイ職員	2	14:00~15:00	〃
4月27日	アイデンタル職員	3	10:30~11:30	〃
5月8日	福生市職員	2	13:30~14:30	〃
5月11日	シルバー人材職員	2	13:30~14:30	〃
5月26日	ヘルパー学院受講生	1	17:00~18:00	施設見学、質疑応答
5月27日	リヴドゥ職員	2	13:30~14:30	施設見学、打ち合わせ
5月27日	羽村支援学級教員	1	15:00~16:00	〃
6月16日	羽村支援学級教員、生徒	2	15:00~16:00	施設見学、質疑応答
6月26日	慰問希望者	2	11:00~12:00	施設見学、打ち合わせ
7月14日	シルバー人材職員	1	14:30~15:30	〃
8月20日	ボランティア希望者	1	14:00~15:00	施設見学、打ち合わせ
8月24日	文京区職員	2	16:00~17:00	〃
8月28日	YMCA 医療福祉専門学生	2	9:00~18:00	施設見学、事前学習
9月26日	慰問希望者	3	15:00~16:00	施設見学、打ち合わせ
10月7日	慰問希望者	2	16:30~17:30	〃
10月28日	文京区職員	2	9:30~10:30	〃
11月17日	目黒区職員	2	10:30~11:30	定期訪問
1月7日	福生市職員	2	13:15~14:00	施設見学、打ち合わせ
1月20日	福生市職員ドラマ制作会社	5	11:00~11:30	〃
2月17日	福生市職員ドラマ制作会社	10	11:00~11:30	〃
3月4日	慰問希望者	2	13:30~14:30	〃
3月8日	慰問希望者	3	9:15~10:00	〃

※その他施設入所希望のご家族 多数見学あり

## 7) 日用品費・介護用品費・被服費購入等事業費報告

○給食費 41,049,627円      ○介護用品費 15,435,341円      ○医薬品費 3,827,694円  
 ○保健衛生費 2,459,858円      ○被服費 6,244,020円      ○日用品費 2,146,593円  
 ○水道光熱費 21,334,426円      ○燃料費 8,643,110円      ○消耗器具备品費 1,961,691円  
 ○車両費 424,608円

## 7. 厨房事業報告

## 1) 実施報告

(1)実施内容「バンバンジー麺」 実施日 H27.07.01(水)

## 【目的】

夏場に提供させていただく麺は、醤油ベースの中華麺(冷やし中華)なので利用者様に味の変化と見た目の変化を楽しみ喜んでいただき食欲が湧くように、と計画致しました。

## 【結果】

トッピングには鶏肉、水菜、胡瓜、プチトマトと色目も良く、また蒸した鶏肉はとても柔らかく食べやすい様子でした。かけダレのごま味噌の味は、利用者様に喜んでいただくことができました。

## 2) 代替食実施状況



○青魚禁→白身魚で対応

2F・4名 3F・1名 4F・1名

○牛乳・乳製品禁→ジュース、果物等で対応

2F・2名 3F・2名 4F・4名

○うなぎ禁→丼物等中心で対応（牛丼等）

2F・4名 3F・1名 4F・1名

○麺類禁→主食を御飯・粥として副食をプラスし対応

2F・1名 3F・7名 4F・4名

○その他禁 納豆、長芋、里芋、オクラ、なめこ、トマト、鶏肉、カレー等→他の食材もしくは調理法で対応

### 3) 行事食内容報告

月	日		月	日		月	日	
4	1	ラーメンの日	9	2	冷やし中華	12	28	もちつき大会
	29	誕生会		13	敬老の日		31	年越し
5	6	ラーメンの日	10	30	誕生会	1	1	元旦祝膳
	27	誕生会		7	ラーメンの日		6	ラーメンの日
6	3	冷やし中華	11	18	文化祭	1	7	七草粥
	24	誕生会		28	誕生会		11	鏡開き
7	1	バンバンジー麺	12	4	ラーメンの日	2	27	誕生会
	18	盆踊り		25	誕生会		3	ラーメンの日
	29	誕生会		2	ラーメンの日		24	誕生会
8	5	冷やし中華	12	19	クリスマス会	3	2	ひな祭り
	26	誕生会		23	誕生会		23	ラーメンの日
							30	誕生会

他：うどん、そばの日・・・月1回

希望食の日・・・月1回 10月～6月 寿司または刺身 7月～9月 うなぎ蒲焼き

### 4) 給食懇談会実施状況

月	日	階	人数	議題	内容等
4	3	4F	5	食事について感想、希望等	具体的に好きな料理や食材を答えていただけた方が多かった
5	1	4F	6	〃	寿司や刺身、甘味はお好きな方多い様子であった
6	5	4F	6	〃	概ねよく召し上がっている様子 具体的な料理名などはあまり挙がらず
7	3	4F	6	〃	詳しく嗜好について伺うのは困難だったが 甘味は好まれておりおやつ喜ばれた
8	14	3F	4	希望食の日について等	夏季の希望食(うなぎ)について伺った 好まれている様子
9	4	3F	6	食事について感想、希望等	料理名あまり思いつかない方もいたが 好物として刺身や甘味を挙げる方あり
10	2	3F	5	希望食の日について等	希望食(寿司・刺身)について伺った あまり好きではないという方もいらっした
11	6	2F	4	食事について感想、希望等	皆さんカレーライスが好きとのこと 他、甘味や果物が好まれている様子
12	4	2F	4	〃	嗜好についてあまり伺うことはできなかったが 皆さん概ねよく召し上がっている様子
1	8	2F	5	〃	受け答え難しい方は相談員から 情報をいただいた
2	5	2F	4	〃	嗜好面から禁忌となっている食材ある方 いたが、お話し伺い解除とした
3	4	4F	5	〃	甘味は好まれている様子だったが 他に具体的な料理名等は出なかった

※毎月1回第1金曜日 PM2:30～3:00 までの短い時間ではありますが、各階の利用者様が参加され、調理の現場からの出席もあり、食事の感想や希望を伺い個人個人の嗜好を把握し、ADL や食事形態の変化を直接認識して、それを献立作成や実際の調理に反映させるための貴重な時間となっています。

## 8. 医務室利用者健康管理報告

### 1 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進

#### 【実施内容と方法】

- ① 年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・採血・尿検査）
- ② 新規入所者は入所の際にフルコース検査を実施（胸部レントゲン・頭部 CT・採血・尿検査・心電図・必要に応じて胸部 CT・心エコー・腹部エコー等）
- ③ 利用者健康診断及び新入所者のフルコース検査結果を速やかに医師に報告し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努めた。
- ④ 週に3回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
- ⑤ 医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SPO2 など）
- ⑥ 医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
- ⑦ 毎月1回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
- ⑧ 健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
- ⑨ 加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
- ⑩ 看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職間との情報共有に努める。
- ⑪ 夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。

年間目標1に対して27年度の取り組み①～⑪により、多くの疾病を抱える利用者の安定的な健康管理に繋がった。

今年度は33名の死亡退所者がおり、入院先での死亡者3名、急変等により死亡された方13名、ターミナル対応の末に亡くなった方20名であった。

亡くなられた方の半数以上が入院先と看取り介護（ターミナル）の実施が可能となったのは、異常の早期発見に努め医師との間で速やかに情報共有が出来たからと思われる。看取り介護を実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、家族の死に対する心の整理をつける事にも繋がった。

今後も他職種間との連携の強化に努め、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努める。

### 2 感染症の発生及び蔓延防止

#### 【実施内容と方法】

- ① 年2回以上の感染症予防及び発生時の対応方法について職員研修を実施。
- ② 全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
- ③ 11月頃より3月末頃までは感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。
- ④ 職員の手洗いうがい、アルコール消毒施行の徹底。
- ⑤ 11月より3月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロア・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロア1台）を設置し湿度調整を図る。
- ⑥ 感冒症状の呈した利用者の居室には次亜塩素酸消毒液入りの加湿器を設置。
- ⑦ 利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
- ⑧ 面会者への感染症発生及び蔓延防止に関する注意喚起を行う。
- ⑨ 体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
- ⑩ 職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。

今年度、感染症の発生予防に努めたことによりインフルエンザ2名・ノロウイルス0名であった。突発的な下痢や嘔吐、発熱などが見られる利用者に対しては一貫した対応を行うと同時に、速やかに医師へ報告し適切な治療を早期に実施することができた。

次年度も感染症における対応方法についての研修会を多く開催し、感染症の予防及び蔓延防止の為の知識・技術の向上を図る。

### 3 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

#### 【実施と内容】

- ① 入所時より定期的に利用者の ADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
- ② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
- ③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
- ④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
- ⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
- ⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
- ⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。

実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は 0.68%、褥瘡新規発生率は 5.19%となった。  
 次年度以降も褥瘡発生率 0%を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要。

○平成 28 年 3 月 31 日現在の医療処置対応者

- 胃瘻による経管栄養施行者 5 名
- 在宅酸素使用者 1 名
- 褥瘡処置者 2 名
- 血糖測定者 0 名
- 経口摂取困難による点滴施行者 2 名（ターミナル者 5 名）

## 9. リハビリテーション報告

(1) 総括

平成 27 年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行する事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力を予測し、日常生活への適応にも努めた。

また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為の一つひとつを注意深く観察し、精神的な高揚につながるようアプローチも合わせて行った。

(2) 実施事項

- ① 理学療法士による評価・プログラム作成
- ② 関節可動域訓練・マッサージ
- ③ 温熱療法
- ④ 筋力増強、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑤ 廃用性の機能低下防止

(3) 結果

- ・ 関節可動域の維持拡大 24 名
- ・ 起居・移乗・移動動作能力の維持向上 12 名
- ・ 疼痛の軽減 6 名

以上の結果が得られた。今年度においても利用者の身体状況重度化に伴い関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。体調不良により訓練中止となった利用者においても、他部署との連携により早期再開を進め廃用性の機能低下防止にも努めた。

転倒により腰椎圧迫骨折を発症した利用者においては、自己にて起き上がり、歩行も難しい状態であったが、温熱・マッサージによる疼痛の軽減、体幹・下肢筋力強化、立位バランス、歩行訓練を週に 3 回程度施行したことにより、自己にて起居動作から歩行が可能となり歩行器にて自立した日常生活を送っている利用者。脳梗塞後遺症により片麻痺の症状のある利用者に関しては、訓練にてある程度筋力増強、立位バランスの向上がみられた時点で、短下肢装具を製作し訓練を継続した結果、軽介助での移乗動作、介助でのトイレ使用が可能となり生活の質の向上に繋がった利用者。また、認知症特有の筋緊張による関節可動域制限、姿勢不良の傾向がある利用者において、可能な範囲での集中的な訓練施行及び週 3 日程度の訓練施行にて機能低下防止に努め、日々の安定した離床につながっている利用者 19 名など様々な結果が得られた。

その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定および整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜在的能力の開発にも努めた。

(4) 反省点

- ①利用者個々に合ったポジショニング・体位変換などにおいて、介護職への連絡不十分な面から、関節可動域制限進行につながったケースに対し、各フロアの相談員、リーダー、居室担当等への連絡を周知徹底し再発防止に努める。
- ②車椅子座位の姿勢不良により、仙骨部剥離、関節可動域制限進行につながる問題において、各フロアへ事例とともに説明を行うも同様のケースが再発するため、各フロアを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防会議等にも周知徹底し再発防止に努める。

1) リハビリ実施報告表

月	R. O. Mマッサージ			温熱療法			起立バランス歩行			理学療法士による評価			
	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施評価人数	
4	26	30	358	26	3	28	4	26	21	204	2	37	11
5	26	29	322	26	3	12	5	26	21	179	3	36	18
6	26	29	322	26	3	25	6	26	22	215	3	37	13
7	27	30	386	27	3	29	7	27	22	219	3	38	20
8	26	30	403	26	3	28	8	26	23	219	3	38	21
9	26	31	349	26	3	19	9	26	24	206	3	39	21
10	27	32	365	27	3	31	10	27	25	233	3	40	22
11	25	33	360	25	3	24	11	25	27	215	3	42	18
12	27	33	373	27	3	27	12	27	25	230	3	40	19
1	23	34	335	23	3	15	1	23	25	202	3	42	22
2	25	34	373	25	3	25	2	25	25	223	3	41	21
3	27	33	363	27	3	15	3	27	25	194	3	41	18
計	311	378	4309	311	36	278	計	311	285	2539	35	471	224

10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

平成 27 年度 生活相談員・介護支援専門員の活動内容を下記の通り報告します。

I. 実施内容

・入所相談

入所相談に当たっては、法人全体のパンフレット等を活用して、当施設が提供するサービスについて、その内容や提供方法をわかりやすく説明するほか、必要に応じて介護保険制度や介護についての情報を提供できるよう努めました。また随時での施設見学も受け入れ、入所を希望されるご本人及びそのご家族にも入所後の生活をイメージしていただけるようサポートしました。また施設見学が困難な方については、「入所前面接」として、ご自宅や入院されている病院や施設等にお邪魔して、ご本人の様子やご家族の希望要望等の聞き取りにより情報収集に努め、判定会議・入所準備へとつなぎました。

・入所時面接

入所時の面接にあたっては、環境の変化に戸惑うことなく施設での生活に移行できるように配慮し、ご本人はもちろん、ご家族に対しても不安や心配を取り除くように努めました。また関係各部署とも連携をとってご本人の情報収集と把握に努め、快適な支援に繋がるように配慮しました。また、入所後しばらくはご本人の身体的・精神的な状態の観察を行い、施設での生活にスムーズに溶け込めるよう配慮しました。

・ケース会議～計画書作成～実施～モニタリング・アセスメントのPDCAサイクル

月 2 回（第 2・4 木曜日）のケース会議開催を基本とし、ご本人・ご家族の意向（会議に参加できない場合は事前に聴取）を踏まえ、副施設長・看護師・管理栄養士・リハビリ等関係各部署の専門的な意見を集約し、利用者様一人一人に適した計画を作成することに努めました。また作成した計画は、日々の生活の中でケアの柱となるよう各フロアにおいても職員全体で共有し、居室担当者は月末ごとにモニタリングを行い 6 か月ごとのケース会議前に再アセスメントを行うなど PDCA サイクルが定着しています。

・利用期間中の生活相談

日々変化する利用者様の身体的・精神的なケアのため、訪室や声掛け、利用者様から直接の相談受付など様々な場面で、その時に抱えている不安・不満または希望・要望に対して傾聴し、

必要に応じて環境を整備する等、利用者様一人一人が「自分らしく」生活していただけるように必要な支援の提供に努めました。

- ・ 家族間調整

利用者様の状態変化については、ご家族に対して面会時や電話、文書など適切な方法によってお伝えすることで、利用者様の状態を共有していただき、一緒に支えていけるよう努めました。

- ・ 終末期に関わる相談

平成27年度においても、ご家族の意向を確認したうえで施設での看取り介護を実施しています。関係各部署が協力して、ご本人が穏やかな気持ちで人生の最期を迎えられるよう環境整備に努めました。ご本人の体調や状態の変化について、ご家族と情報を共有するほか、様々な場面でコミュニケーションをとり不安の解消を図ることで、ご家族が「看取り」を受け入れるにあたっての心理的なサポートにも努めました。

- ・ 職種間調整

チームケアで利用者様の生活をサポートするため、日常的に関係各部署との連携を密にとり、情報の共有また正確かつ迅速な情報の伝達が可能となるよう職員間の調整に努めました。

- ・ リスクマネジメント及び苦情解決

「事故・ヒヤリハット」及び「苦情申告」は、発生・発見または受付ごとに書類として記録に残すとともに、発生要因の究明と再発防止に向けた取り組みをミーティング等で出来るだけ速やかに話し合いを行うこととし、提供するサービスの更なる向上と、利用者様及びご家族との信頼関係の構築につなげられるよう取り組みました。

## II. 介護職員への指導

平成27年度は、施設内研修におけるスキルアップと、フロアごとに対象となる利用者個別のケア方法の研修会を行うなど、より具体的な取り組みにより職員全体のスキルアップを目指しました。

## 11. クラブ活動実績報告

### ① クラブ活動について

施設生活は個人の個性や趣味、嗜好が思うように保てないのが現状であるため、出来る限り個々の希望を満足させる事が出来るよう心がけた。

クラブ活動を通じ、集団生活化しがちな施設生活に利用者1人1人の趣味、嗜好をこらし、様々な要求に出来る限り対応し、満足な生活空間の提供が出来るよう工夫した。自己の創作意欲と、クラブ員同志のコミュニケーションの中で、生活感のある自由な時間を作るよう工夫した。

一年毎に、利用者のADLの低下が感じられ、クラブ活動への参加意欲が衰退している。しかしながら、参加されている利用者については毎回楽しみにされている様子で、生き生きと活動を進め、QOLの向上につながっている。

今後もそれぞれの利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であると考えます。

### ② 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名			
茶 道	片岡明美先生		書 道	石井亮子先生
華 道	久保田茂子先生		陶 芸	川口由美子先生
水彩画	職員 室賀こずえ		押 花	浅見廣子先生
手 芸	小川光子先生	野口美恵子		

#### 茶道クラブ活動報告

活動回数	19回	参加延人数	118名	平均参加人員	5-6名	担当：大柄さとみ
------	-----	-------	------	--------	------	----------

#### 【活動報告】

- 1) 第1・第3月曜日で活動
- 2) 先生の御指導のもと、参加者がお手前をしたり、お茶を味わえた。
- 3) お茶と和菓子で心穏やかに利用者間、先生とのコミュニケーションを図れた。

#### 【月別活動報告】

月	内 容	月	内 容
4月	先生の御指導のもと、お手前をする	10月	文化祭、お客様にお手前を楽しんで頂く
5月	〃	11月	先生の御指導のもと、お手前をする
6月	〃	12月	〃
7月	〃	1月	〃
8月	〃	2月	〃
9月	〃	3月	〃

#### 手芸クラブ活動報告

活動回数	20回	参加延人数	14名	平均参加人員	1-2名	担当：原島 久美子
------	-----	-------	-----	--------	------	-----------

#### 【活動報告】

- 1 他の利用者様と親睦を深め賑やかに楽しく活動が出来ました。
- 2 残存機能を使い意欲的に取り組み気分転換を図る事が出来ました。
- 3 自分で出来る事の楽しみ達成感を味わってもらうことが出来ました。
- 4 前年度参加されていた利用者様の身体状況が低下し活動される方が少なくなった。

#### 陶芸クラブ活動報告

活動回数	63回	参加延人数	410名	平均参加人員	4-7名	講師：川口 由美子
------	-----	-------	------	--------	------	-----------

#### 【活動報告】

身の回りの食器だけでなく、インテリア品や季節の行事の置物などにも重点をおいて活動しました。利用者の皆様からは大変好評で十分満足感を味わえたと思います。デイサービスの皆様は、家族や友人からの注文もあり、できあがった作品をほめてもらったりして、ますます作ることの楽しさと意欲がわいてくるようでした。

書道クラブ活動報告						
活動回数	22回	参加延人数	370名	平均参加人員	17名	担当：勝島由美子
<b>【活動報告】</b>						
1. 先生のご指導のもと熱心に取り組み、充実感のある時間を持っていただくことが出来た。						
2. 文化祭では各自、真心を込めて書き上げた作品を見ていただき、今後の活動の励みとなった。						
3. 合評会では、先生からのお言葉を頂き、クラブ員同士励ましあいも見られ、とても良い交流を図ることが出来た。						
<b>【月別活動報告】</b>						
月	内 容			月	内 容	
4月	お手本を基に練習、清書			10月	合評会（文化祭の反省会）	
5月	お花の名前のお手本を基に練習			11月	お手本を基に練習（写経）	
6月	お手本を基に練習、清書			12月	写経の練習、清書	
7月	お手本を基に半紙で練習			1月	書初めの練習、清書	
8月	文化祭に向け練習			2月	お手本を基に練習	
9月	文化祭に向け練習、清書			3月	お手本を基に練習	

押し花クラブ活動報告						
活動回数	6回	参加延人数	78名	平均参加人員	18名	担当：荒井昭仁
<b>【活動報告】</b>						
1) 季節のいろいろな草花を使う事で、季節感を感じて頂いた。						
2) ご自分でデザインの配置を考え、指先を使うことで、脳の活性化を図り、作品を作り上げる達成感と満足感を感じていただいた。						
3) 同席の利用者様と一緒に作る事により、交流の場にもつながった。						
<b>【月別活動報告】</b>						
月	内 容			月	内 容	
4月	色紙			1月	色紙	
6月	色紙			2月	色紙	
7月	色紙			3月	色紙	
8月	シート しおり					

華道クラブ活動報告						
活動回数	23回	参加延人数	157名	平均参加人員	6-7名	担当：大柄さとみ
<b>【活動報告】</b>						
1) 第2・4木曜日に活動						
2) 利用者のレベルに合わせて先生にご指導していただいた						
3) 生け花を通して利用者間、先生とのコミュニケーションを図れた。						
<b>【月別活動報告】</b>						
月	内 容			月	内 容	
4月	季節の花を生ける			10月	文化祭の出展作品	
5月	季節の花を生ける			11月	季節の花を生ける	
6月	季節の花を生ける			12月	クリスマスの作品	
7月	季節の花を生ける			1月	正月の作品	
8月	季節の花を生ける			2月	季節の花を生ける	
9月	季節の花を生ける			3月	季節の花を生ける	

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	16回	参加延人数	106名	平均参加人員	11名	担当：室賀 こずえ
【活動報告】						
1) 季節の花を材料にして楽しむことが出来た。						
2) 文化祭に向けて意欲的に取り組んだ。						
3) デイサービス、他フロアの利用者と交流を持つことが出来た。						
4) コミュニケーションをとり、活性化を図ることが出来た。						
【月別活動報告】						
月	内 容		月	内 容		
4月			10月	文化祭展示 カーネーション、リンドウ、バラ、ガーベラ 下絵を描き、色付けをする		
5月			11月	キク、トルコキョウ 下絵を描き、色付けをする		
6月	アジサイ 下絵を描き、色付けをする		12月	三色バラ、ポインセチア、スターチ、キク 同上		
7月	ユリ、あじさい 下絵を描き、色付けをする		1月	キク、チューリップ、ガーベラ、バラ 同上		
8月	バラ 下絵を描き、色付けをする		2月	ラン、チューリップ、野菊、バラの鉢植 同上		
9月	りんどう、キク、彼岸花、ユリ 下絵を描き、色付けをする		3月	バラ、フリジア、フィルマ 同上		

クラブ活動費実績：3,358,156円

## 12. 年間行事実施報告

- 4月4日 《観桜会》利用者・ご家族のカラオケ、キッズダンス・大正琴の慰問やお食事を楽しむ。
- 7月18日 《納涼祭》利用者・ご家族のカラオケ、地元婦人会の盆踊り、花火大会やお食事を楽しむ。
- 9月13日 《敬老会》式典、祝い膳、そして福生市敬老会に参加した。
- 10月17・18日 《文化祭》ご家族、利用者のカラオケ、どこでもドアーズ演奏慰問、福生市キャラクター”たっけー”も参加 うぐいす会のよさこいソーランの披露などを楽しむ。
- 11月4日 《焼き芋大会》5階ホールにて焼き芋を食べ、カラオケなどで楽しむ。
- 12月19日 《クリスマス会》昼食は行事食、5階ホールにて、金管バンド、フルーツアンサンブルの慰問を楽しむ。
- 12月28日 《餅つき大会》特養、デイサービス合同で餅つき。あんこ、きなこ、大根おろしでつくたての餅を食事した。
- 1月1日 《元旦祝い膳》5階ホールにて、式典。理事長、統括施設長より新年の挨拶。その後祝い膳を食事。午後には初詣（熊川神社）に行かれた。
- 2月1日 《節分祭》豆まきを実施。
- 3月1日 《ひな祭り》昼食に祝い膳を楽しむ。フロアごと職員の余興を楽しむ。

行事等実績：2,595,501円

## 13. 事務費・固定資産物品報告

### 事務費報告

- 事務消耗品費 4,646,645円      ○印刷製本費 998,532円      ○修繕費 7,970,444円
- 通信運搬費 1,374,380円      ○広報費 542,965円      ○業務委託費 16,531,044円
- 手数料 5,609,388円      ○保険料 1,068,879円      ○賃借料 11,301,472円
- 土地・建物賃借料 469,500円      ○租税公課 127,008円      ○保守料 4,625,543円
- 渉外費 343,171円      ○諸会費 289,290円      ○雑費 1,431,397円

### 固定資産

- 大型冷蔵庫入替 864,000円      エアコン入替 1,741,176円
- 加圧給水ポンプ等設備器具入替 6,358,080円      無線LAN設備 1,085,400円
- 機械浴槽リース 21,137,760円      メインサーバーリース 4,898,880円



14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告

2F

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折					1						1		2
転倒	2	1	1			2	1			1	1		9
転倒(椅子)		1			1								2
転落(ベッド)		2		2			1	1					6
転落(車椅子)			2	1		1	1		1				6
出血・吐血													
膝折れ													
ずり落ち(ベッド)					1		1						2
ずり落ち(車椅子)											1		1
火傷													
裂傷							1						1
剥離				1									1
内出血													
誤嚥									1				1
異食・誤食													
尻もち													
脱園													
その他						1			1				2

3F ヒヤリハット

事故種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	0	1	1	0	2	1	2	3	5	4	1	2	22
尻もち	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	2	1	10
転落(車椅子)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	5
転落(ベッド)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3
ずり落ち(車椅子)	0	4	4	3	2	0	1	4	0	0	2	2	22
ずり落ち(ベッド)	0	4	4	3	2	0	1	4	0	0	2	2	20
徘徊(他室発見)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徘徊(他フロア発見)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徘徊(施設外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
服薬ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	11	7	5	7	4	13	9	10	7	10	9	92

4F

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折	1												1
転倒	1	3			5	3			1	2	1	2	18
転倒(椅子)		1											1
転落(ベッド)		3				1	2		1			2	9
転落(車椅子)	1	1						2		1		1	6
出血・吐血													0
膝折れ	1			1									2
ずり落ち(ベッド)			1	3	2		1	2	1	3	4	2	19
ずり落ち(車椅子)							3	1					4
火傷													0
裂傷				1									1
剥離							1		1				2
内出血													0
与薬忘れ						1	1			1			3
誤嚥													0
誤薬						1					1		2
異食・誤食	1												1
尻もち							1						1
脱園													0
その他		1		1				1			1		4

15. 職員研修報告

【外部研修】

月	日	研修・出張内容	場所	主催者	参加者
5	2	新しい認知症ケア	トヨタライビング スクール東京	なるほどケア塾	武内宏太 小林美由希 青山和美 得能千春
	21	安全運転管理者定期総会及び講習会	福生市民会館	福生安全管理者部会	古谷康司
	27	福生地区特定給食研究会総会	羽村市生涯学習セ ンターゆとろぎ	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
		養護者による高齢者虐待対応研修	国際ファッションセ ンター	東京都福祉保健財団	鈴木敦子
6	4	事前訪問	ほたるの泉(群馬 県高崎市)		森田靖仁
	15	事前訪問	目黒・高井戸		森田靖仁
	18	認知症介護実践者研修	東京都社会福祉保 健医療研修センタ ー	東京都社会福祉協議会	原島久美子 大柄さとみ
	18	認知症介護実践リーダー フォローアップ研修	青梅市福祉センタ ー	青梅成木台病院	井上守之
	18	事前訪問	文京区・葛飾区・足 立区		下田政勝
7	2	東京都介護支援専門員専門研修	オリンピック記念青 少年総合センター	総合健康推進財団	得能千春
	9	東京都介護支援専門員専門研修	オリンピック記念青 少年総合センター	総合健康推進財団	山下晶子
	16	東京都介護支援専門員専門研修	オリンピック記念青 少年総合センター	総合健康推進財団	得能千春
	22	安全運転管理者講習	昭島市民会館	東京都交通安全協会	古谷康司
	22	アクティブ福祉'15 事前研修	研究社英語センタ ービル	東京都社会福祉協議会	大高弘史
	25	ケアプランの自己点検力を高める	グローバルテクノ 中野研修センター	東京都介護支援専門員研究協議会	佐藤友美
	27	東京都介護支援専門員専門研修	大正大学西巣鴨会 場	総合健康推進財団	福島由美
	27	東京都介護支援専門員専門研修	大正大学西巣鴨会 場	総合健康推進財団	井上守之
8	5	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	山下晶子
	8	東京都介護支援専門員専門研修	飯田橋レインポー ビル	総合健康推進財団	得能千春
	18	東京都介護支援専門員専門研修	オリンピック記念青 少年総合センター	総合健康推進財団	井上守之
	22	東京都介護支援専門員専門研修	飯田橋レインポー ビル	総合健康推進財団	得能千春
	27	東京都介護支援専門員専門研修	西巣鴨会場	総合健康推進財団	山下晶子
	28	マイナンバー対応セミナー	NATULUCK 日本 橋	CIJ ソリューションズ	清水健一郎
	31	東京都介護支援専門員専門研修	オリンピック記念青 少年総合センター	総合健康推進財団	井上守之
9	9	東京都介護支援専門員専門研修	武蔵境会場	総合健康推進財団	山下晶子
	19	東京都介護支援専門員専門研修	飯田橋レインポー ビル	総合健康推進財団	得能千春
	24	東京都介護支援専門員専門研修	オリンピック記念青	総合健康推進財団	山下晶子

			少年総合センター		
	25	人を生かすコミュニケーション	日の出イオンモール	東京都社会福祉協議会：秋川ブロック	池田広宣 細谷 誠
	29	アクティブ福祉in東京'15	新宿：京王プラザホテル		佐々木和仁 福島由美 島田正晃 大高弘史 森本実樹 寺崎千里
	29	介護サービスにおける医療と介護の連携	文京シビックホール	東京都国民健康保険団体連合会	新橋和枝
	30	介護サービスにおける医療と介護の連携	文京シビックホール	東京都国民健康保険団体連合会	山下晶子
10	6	地域包括ケアの推進を目指す在宅と施設のコミュニケーション	飯田橋セントラルプラザ	東京都社会福祉協議会	鈴木敦子
	14	栄養管理講習会	あきる野ルピア	西多摩保健所	水口恵子
	22	結核予防講演会	コングレスクエア中野	東京都福祉保健局	小椋 潤
11	4	社会福祉施設災害防止講習会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	労働基準監督署	佐々木和仁
	5	地域包括ケアの推進を目指す在宅と施設のコミュニケーション	飯田橋セントラルプラザ	東京都社会福祉協議会	鈴木敦子
	11	心理相談員専門研修	安全衛生総合会館	中央労働災害防止協会	橋口里子
	12	心理相談員専門研修	安全衛生総合会館	中央労働災害防止協会	橋口里子
	13	心理相談員専門研修	安全衛生総合会館	中央労働災害防止協会	橋口里子
	14	事前面接	下北沢病院		森田靖仁 下田政勝
	16	ストレスチェック実施者養成研修	オリンピック記念青少年総合センター	総合健康推進財団	橋口里子
	19	認知症介護実践者研修	東京都社会福祉保健医療センター	東京都福祉保健局	池田広宣 顧 隆憲
	20	認知症介護実践者研修	東京都社会福祉保健医療センター	東京都福祉保健局	池田広宣 顧 隆憲
	28	栄養展担当	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	西多摩保健所	水口恵子
	30	安心して老いることができる社会の作り方	羽村市コミュニティセンター	(有)心のひろば	山下晶子 南部敬子 得能千春 鈴木敦子 中村茉莉 鈴木俊哉
	30	安心して老いることができる社会の作り方	羽村市コミュニティセンター	(有)心のひろば	奥平幸子 岡田広子
1	8	東京都介護支援専門員専門研修	オリンピック記念青少年総合センター	総合健康推進財団	新橋和枝
	21	事前面接	世田谷下田総合病院		森田靖仁
2	22	東京都介護支援専門員専門研修	昭和女子大学(三軒茶屋)	総合健康推進財団	新橋和枝
	24	事前面接	杉並区・立川市		森田靖仁

3	4	東京都介護支援専門員専門研修	新宿パークタワー	総合健康推進財団	福島由美
	9	東京都介護支援専門員専門研修	昭和女子大学(三軒茶屋)	総合健康推進財団	新橋和枝
	10	障害者雇用納付金説明会	武蔵小金井		清水健一郎
	15	東京都介護支援専門員専門研修	家族クラブ会館	総合健康推進財団	福島由美
	20	行事下見	多摩動物園		清水健一郎
	28	会計監査の実務	新橋	あらた監査法人	清水健一郎
	29	介護保険法・報酬改定の動向とケアマネジメント	立川商工会議所	カシオ計算機(株)	新橋和枝

### 【内部研修】

回	月 日	内 容	人数	講師	主 催
1	4月20日	ミニアクティブ（フロア研修発表）	23	各フロア代表者	研修委員会
2	4月22日	脂質異常症について	30	青山医師	衛生委員会
3	5月18日	介護保険を学ぼうⅠ（施設入所に至るまで）	12	井上相談員	研修委員会
4	5月29日	熱中症について	17	青山医師	衛生委員会
5	6月19日	公開研修会「東日本大震災から見てきたもの」	43	消防署・社協	研修委員会
6	6月26日	MERSについて	29	青山医師	衛生委員会
7	7月27日	排泄・褥瘡	14	リブドゥ(外部)	研修委員会
8	7月24日	食中毒	24	青山医師	衛生委員会
9	8月17日	認知症の知識を高めよう	28	エーザイ(外部)	研修委員会
10	8月28日	メンタルヘルス	22	青山医師	衛生委員会
11	9月14日	排泄ケアに於けるスキンケア	10	リブドゥ(外部)	研修委員会
12	9月25日	新型ノロウイルス	28	青山医師	衛生委員会
13	10月1日	オムツの当て方、スキンケア(4F)	5	リブドゥ(外部)	4F研修委員会
14	10月1日	オムツの当て方、スキンケア(3F)	6	リブドゥ(外部)	3F研修委員会
15	10月13日	オムツの当て方、スキンケア(2F)	6	リブドゥ(外部)	2F研修委員会
16	10月19日	嘔吐物の処理	18	医務(小椋看護師)	研修委員会
18	10月23日	インフルエンザ	31	青山医師	衛生委員会
19	11月16日	高齢者の栄養管理(アルブミン・BMI)	10	水口管理栄養士	研修委員会
20	11月27日	接触感染・飛沫感染の予防	27	青山医師	衛生委員会
21	12月21日	ベッド周辺に於ける事故防止	10	パラマウントベッド(外部)	研修委員会
22	12月25日	感染症について	28	青山医師	衛生委員会
29	1月18日	ターミナル		第3中川施設長	研修委員会
23	1月22日	インフルエンザ流行に伴う知識	29	青山医師	衛生委員会
24	2月15日	介護保険を学ぼうⅡ(成年後見制度)	29	社協(外部)	研修委員会
25	3月4日	手指衛生	25	青山医師	衛生委員会
26	3月21日	応急救護	12	福生消防署(外部)	研修委員会
27	3月25日	腰痛予防	26	青山医師	衛生委員会

今年度の公開研修会は「震災」について生の情報を防災と福祉の立場から聞くことが出来た。聴講した一般参加者と施設職員ら共に「災害から自分を守り、地域を守る」という視点で地域への協力体制を整える良い機会となったと思われる。また、今期もそれぞれ多くの外部講師を招くことで、専門的知識の向上を図ることが出来た。

恒例となっているフロア毎の研修発表会も年々成果が上がっており、今回も研修発表を基に「アクティブ福祉 in 東京」にて発表している。

委員会での意見交換は更に充実しており、「意外と知らない…」の視点から、介護保険制度の内容を取り入れる等、新しい学びから専門職としての自信に繋がったと思われる。

また、衛生委員会と合わせて感染症についての研修も多く取り入れたこともあり、感染の早期発見、早期対応に努めることができた。

旅費・研修費実績：568,242円

16. ボランティア受入の状況

4	2	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	高田、丸茂、小林、そよ風
	2	木	歌の会	2	ウクレレ演奏、合唱	利用者家族
	5	日	観桜会	15	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等
	7	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄等	関谷、木村、太田
	9	木	歌の会	2	ウクレレ演奏、合唱	利用者家族
	14	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	あひるの会
	14	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	10	金	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	11	土	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	16	木	歌の会	2	ウクレレ演奏、合唱	利用者家族
	16	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	丸茂、小林、そよ風
	16	木	介護ボランティア	1	介護補助	一般
	16	木	歌の会	2	ウクレレ演奏、合唱	利用者家族
	21	火	介護体験ボランティア	2	介護補助	一般
	21	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄等	西村、関谷、木村
	21	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	23	木	歌の会	2	ウクレレ演奏、合唱	利用者家族
	22	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	23	木	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	23	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園
27	月	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般	
28	火	利用者ショッピング	7	イオンショッピング付き添い	あひるの会	
30	木	歌の会	2	ウクレレ演奏、合唱	利用者家族	
5	5	火	喫茶室	3	喫茶準備、食器洗浄等	西村、関谷、木村
	7	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	12	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	あひるの会
	12	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	14	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	丸山、小林、そよ風
	14	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	17	日	草笛	1	草笛 踊り	中川
	19	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	19	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄等	西村 関谷 木村、太田
	21	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	丸山、小林、高田、清水、そよ風
	21	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	26	火	利用者ショッピング	5	イオンショッピング付き添い	あひるの会
	26	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
28	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園	
28	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族	
29	日	生演奏会	2	サックス演奏	山口	
6	2	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄	西村、関谷、木村
	3	水	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	3	水	朗読	3	朗読、歌	どんぐりサークル
	4	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	丸茂、小林、高田、そよ風
	4	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	9	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	9	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	あひるの会
	11	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	14	日	生演奏会	3	琴、ピアノ、オーボエ	高野
	16	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	西村、関谷、木村、太田
	16	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	18	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	丸山、小林、そよ風
	18	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	23	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	23	火	利用者ショッピング	5	イオンショッピング	あひるの会
25	木	園児来園	24	利用者交流	加美平保育園	
7	2	木	手芸クラブ	2	手芸手伝い	高田、清水
	2	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	2	木	介護体験ボランティア	2	介護補助	一般
	7	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄	西村、関谷、木村

	9	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	14	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	14	火	利用者ショッピング	4	あきる野東急付添い	あひるの会
	16	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	16	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	丸茂、小林、高田、そよ風
	18	土	納涼祭	18	会場係、模擬店、、着付け等	関係業者、福生高校等
	18	土	納涼祭	40	会場準備、片付け	NPOクラブアトレチコフッサ
	19	日	草笛	1	草笛 踊り	中川
	21	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	21	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	西村、関谷、木村、太田
	23	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	23	木	園児来園	24	利用者交流	加美平保育園
	28	火	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	28	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	28	火	利用者ショッピング	3	イオンショッピング	あひるの会
	30	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
8	6	火	夏休みボランティア	1	介護補助、雑務	社協ボランティアセンター
	4	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄	西村、関谷、木村
	6	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	丸茂、小林、高田、そよ風
	6	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	7	金	福生七夕流し踊り	1	着付け	職員家族
	11	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	11	火	利用者ショッピング	6	あきる野東急付添い	あひるの会
	13	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	18	火	介護体験ボランティア	3	介護補助	一般
	18	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄等	西村 関谷 木村
	20	木	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	20	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	20	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	丸茂、小林、高田、そよ風
	25	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	25	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	25	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング付き添い	あひるの会
	27	木	園児来園	24	利用者交流	加美平保育園
	27	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	30	日	生演奏会	2	サックス演奏	山口
9	1	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄	西村 木村 関谷
	3	木	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	3	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	丸茂、小林、そよ風
	3	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	8	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	8	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	あひるの会
	10	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	15	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	15	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄	西村、関谷、木村
	17	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	17	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	小林、高田、そよ風
	22	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	24	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園
	24	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	28	金	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	29	土	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
10	1	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	丸茂、小林、そよ風
	1	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	6	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄等	西村 関谷 木村
	8	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	13	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	13	火	利用者ショッピング	5	東急ショッピング付き添い	あひるの会
	15	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	15	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	丸茂、小林、そよ風
	18	日	文化祭	26	会場係、模擬店、片付け	福生社協、関係業者、福生高校等
	20	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	20	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄等	西村 関谷 木村

	22	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	22	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園
	27	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	27	火	利用者ショッピング	5	イオンショッピング付き添い	あひるの会
	29	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
11	3	火	焼き芋大会	2	喫茶準備、食器洗淨等	西村 関谷
	5	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	丸茂、小林、林、高田、そよ風
	5	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	10	火	ミカン狩り	7	ミカン狩り付き添い	あひるの会
	10	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	12	木	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	12	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	15	日	草笛	1	草笛 踊り	中川
	17	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	17	火	喫茶の日	2	喫茶準備、食器洗淨	太田、木村
	19	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	19	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	丸茂、小林、そよ風
	24	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	24	火	ミカン狩り	7	ミカン狩り付き添い	あひるの会
	26	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園
	26	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	29	日	生演奏会	2	サクソ演奏	山口
12	1	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗淨	西村、関谷、木村
	1	火	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	3	火	手芸クラブ	5	手芸手伝い	丸茂、小林、そよ風
	3	火	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	3	火	朗読	4	朗読、歌	どんぐりサークル
	8	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	14	月	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	15	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗淨	西村、関谷、太田
	15	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	17	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	丸茂、小林、そよ風
	19	土	クリスマス会	2	配膳、片付け	福生高校
	22	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	25	火	介護体験ボランティア	2	介護補助	一般
	28	月	餅つき大会	7	餅つき手伝い	あひるの会、福生高校等
	29	金	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
1	12	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗淨	西村、関谷、木村
	12	火	理髪の日	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	12	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	14	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	小林、そよ風
	19	火	介護体験ボランティア	2	介護補助	一般
	19	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗淨	西村、関谷、木村
	21	木	手芸クラブ	2	手芸手伝い	小林、そよ風
	20	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	20	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	丸茂、林、高田、小林、田中
	20	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	20	火	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	20	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	20	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	26	22	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
2	2	火	おやつバイキング	2	喫茶準備、食器洗淨	関谷、木村
	9	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	16	火	喫茶の日	1	喫茶準備、食器洗淨	西村
	16	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	17	水	手芸クラブ	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	20	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗淨	西村、関谷、木村
	23	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
3	1	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗淨	西村、関谷、木村
	8	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	15	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗淨	西村、関谷、木村

17	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	丸茂、林、高田、小林
22	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
22	火	利用者ショッピング	5	イオンショッピング付き添い	あひるの会
24	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園

### 17. 慰問受入状況

月 日	慰問者名	人 数	行事名等	内 容
4月5日	steps unlimited	40	観桜会	キッズダンス
	琴和香	7	観桜会	中の島流大正琴
5月19日	サルビア会	10	おやつバイキング	舞踊
7月18日	長友会	10	納涼祭	踊り
	ひよつとこ風連	10	納涼祭	踊り
9月13日	フラハラウナブアオナ	10	敬老会	フラダンス
10月17日	うぐいす会	8	文化祭	よさこい
	タッキー	2	文化祭	地元キャラクター
	どこでもドアーズ	4	文化祭	演奏
12月18日	職員家族	4	クリスマス会	演奏
	じゃがいもぶらす	5	クリスマス会	演奏
1月1日	長澤お獅子連	8	元旦	獅子舞

### 18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

月	期 間	実習依頼先	人数	実習内容及び目的
5月	05/18～05/19	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	05/25～05/26	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
6月	06/01～06/05	YMCA 医療福祉専門学校	1	介護福祉士
	06/08～06/09	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	06/22～06/23	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	06/24～06/25	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	06/26～06/27	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	06/29～06/30	東京西の森歯科衛生士専門学校	7	初任者研修
	06/30～07/07	都立羽村特別支援学級	1	体験学習
	06/15～06/18	ヘルパー学院	12	初任者研修
	8月	06/01～01/14	東京福祉大学	1
08/03～08/05		福生高等学校	4	体験学習
9月	09/07～09/11	瑞穂中学校	3	職場体験
	09/07～09/28	YMCA 医療福祉専門学校	2	介護福祉士
	09/09～09/11	福生第3中学校	2	職場体験
	09/15～09/17	ヘルパー学院	13	初任者研修
	09/15～09/17	福生第2中学校	3	職場体験
10月	10/06～10/27	YMCA 医療福祉専門学校	2	介護福祉士
11月	11/02～11/16	YMCA 医療福祉専門学校	1	介護福祉士
	11/30～12/14	YMCA 医療福祉専門学校	1	介護福祉士
12月	12/7～12/09	ヘルパー学院	15	初任者研修
3月	03/14～03/18	ヘルパー学院	10	初任者研修

受入研修費収入額：138,000円



### 19. 消防訓練実施結果

平成 27 年度は、引き続き震災への対応も含めた避難訓練に重点をおく訓練を行った。また寝たきりの利用者の対応についても取り組む意識が出てきている。そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

#### 27 年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4 月 13 日	防火管理委員会	消防計画の再確認を行う。 各階の各責任者の確認と、防災設備について。 今年度の各所訓練について。
5 月 22 日	消火訓練	消火器及び補助消火栓の取扱について説明。 補助消火栓を実際に操作してもらう。
6 月 19 日	消防審査会参加についての説明会	自衛消防訓練審査会参加に向けての説明会出席。 及び、参加メンバーの検討。
7 月 29 日	自衛消防審査会の訓練	参加メンバーの報告 及び、実施要領に基づいた訓練。
8 月 28 日	自衛消防審査会の訓練	操法実施要領に基づいた訓練。
9 月 30 日	自衛消防審査会 参加	操法実施要領に基づいた訓練。 及び、9 月 28 日審査会参加。
10 月	中止	
11 月 19 日	避難訓練 夜勤帯 2 階発災	2 階ダイルームから火災発生と言う想定での避難訓練。 職員 8 名による避難誘導 参加者 74 名
12 月 24 日	避難訓練 日勤帯 1 階発災	D サービスと特養合同の避難訓練。 震災後の火災を想定した訓練。 参加者 126 名
1 月 14 日	防火管理委員会	消防計画の再確認の中で、帰宅困難者・出勤不可能者についての確認と、施設での職員配置について。 指定避難所の指定を受けている為、市と調整を図る。
2 月 25 日	避難訓練 夜勤帯 2 階発災	4 階ダイルームから火災発生と言う想定での避難訓練。 参加者 57 名 火災発生後、宿直者の初動の確認をした。
3 月	中止	

## 20. ショートステイ事業報告

平成 27 年度は稼働率 85% (13.6 名/日) という目標を立てて運営努力した。

この目標に対し、実績は 26 年度実績 80.57% (12.9 名/日) を上回り、81.26% (13 名/日) という結果であった。27 年度の特養退所者数に左右されることも事実として挙げられるが、特養入所実績が 46 名と多い数字の中で前年を上回ることが出来た。27 年度は長期のショートステイ利用者を 12 名と言う数字にこだわった事と、特養で措置入所を多く受け入れたことで、ショートベッドを使用したことで、実質ショートベッド数は 15 床強での稼働となった。

年間を通じて振り返った時、感染症が蔓延する時期を迎え、ショートの入所を控えざるを得なかった時期を含め、長期ショートステイ利用者を 13 床にし、次期の目標を検討したい。

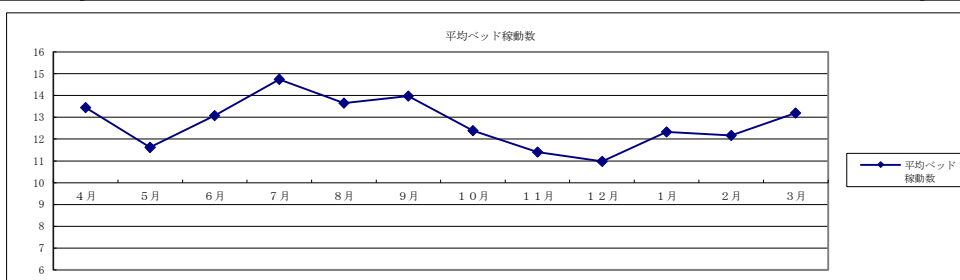
28 年度は、目標とする稼働率 85.0%、13.6 名/日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。介護報酬収入等年間実績 51,505,404 円

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

### 平成27年度ショートステイ事業活動実績報告

#### 月別利用者延人数調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用者数	25	21	24	26	24	25	23	26	23	24	20	19	280
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護度1	4	2	1	2	0	1	1	2	0	0	0	0	13
要介護度2	2	3	3	4	3	3	3	3	3	4	3	3	37
要介護度3	10	8	10	11	9	9	7	9	6	8	7	7	101
要介護度4	6	5	7	5	6	9	10	9	8	7	6	6	84
要介護度5	3	3	3	3	5	3	2	3	6	5	4	3	43
延利用日数	403	360	392	457	423	419	384	342	340	382	353	409	4,664
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	31	1	0	0	0	0	0	0	0	32
要介護度1	21	6	2	11	0	17	3	8	0	0	0	0	68
要介護度2	31	33	35	37	37	35	35	37	38	41	33	30	422
要介護度3	190	154	178	209	164	113	97	77	61	85	110	162	1600
要介護度4	104	91	123	76	118	194	192	156	155	140	120	124	1593
要介護度5	57	76	54	93	103	60	57	64	86	116	90	93	949
平均ベッド稼働数	13.43	11.61	13.07	14.74	13.65	13.97	12.39	11.4	10.97	12.32	12.17	13.19	年平均 12.74



#### ショートステイ利用日数状況調査 (年間)

\*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	3	15	5	2	3	8	36
5月	3	19	4	2	1	7	36
6月	4	17	7	1	0	9	38
7月	5	16	5	3	2	9	40
8月	1	19	5	3	2	8	38
9月	2	19	3	3	2	8	37
10月	4	15	4	3	2	7	35
11月	3	16	7	6	3	3	38
12月	4	16	5	2	1	7	35
1月	2	16	6	3	1	7	35
2月	3	10	2	4	2	7	28
3月	2	10	5	1	1	11	30
合計	36	188	58	33	20	91	426